

本紙で振り返る石阪氏

20年の歩みを取材

2006年3月9日の
20年の歩みを取材
紙面で6人による市長選
を制し、初当選したことを
報じています。次点に
およそ6千票差をつける
4万1013票を獲得
し、タイトルには「町田
市政新体制スタート」の
言葉が並びます。

同号では街のキーマン
を紹介する「人物風土
記」コーナー上写真Ⅱ
にも登場。当時58歳で、
「対話」の市政を築き
たいのタイトルのもと、
「徹底して相手の話を
聞くこと」を信条にし
ていくこと、「市民の信
頼を得ていきたい」とし
ています。



16年元旦号の
「医療と健康」
2016」特集に
は耳鼻咽喉科
院長として稲垣
康治新市長の
記事が掲載され
ていました。

20年間にわたり、町田
市長を務めてきた石阪丈
一氏。その歩みを本紙で
振り返ります。

また、ご問題にまづ
す。

「対話」の市政を築きたい

○「市政を築く」といふことは、市民の生活に直結する。町田市の発展、市民の生活の向上、只、大層な仕事だ。と、稲垣は言う。町田市の発展、市民の生活の向上、只、大層な仕事だ。と、稲垣は言う。町田市の発展、市民の生活の向上、只、大層な仕事だ。と、稲垣は言う。

人物風土記



●3月9日付で町田市長に就任する

石阪 丈一 さん

58歳

題字は
石阪丈一町田市長

町田市長として、稲垣は言う。町田市の発展、市民の生活の向上、只、大層な仕事だ。と、稲垣は言う。町田市の発展、市民の生活の向上、只、大層な仕事だ。と、稲垣は言う。

コロナ禍で揺れて

いた21年の元旦
号インタビュで
はそれまでの生活
の仕方を切り替え
ていかなければなら
ないとし、経済
をまわしていくた
めに始めたキャン
ペーンについて触
れています。ま
た、憂いに対して
人が助け合い、優
います。

字を記しています。

そして、昨年9月25日
の紙面では次の市長選に
高齢を理由に出馬しない
ことを表明したことを報
じています。そのうえで
それまでの市政を振り返
り、「当初は3期までと
考えていたが長くなっ
た。やるべきが多く、市
長としての1日は長い時
間だった」と振り返って



稲垣康治院長

現世代目の康治院長の
専門であるこの疾患は、
か、大学病院でめいを担
シ、治療を提案
し、診察する
時まで延長し
て診察する。